

憲法を暮らしに生かすため、声をあげていきましょう！

～ 憲法記念日・署名宣伝行動～



を暮らしに生かすため、声をあげていきましょう。鈴木事務局次長からは「自民と一緒にになって維新の会やみんなの党が憲法を変えようとしている。改憲勢力にストップの声を突き付けていこう！」と道行く人に訴えました。

5月3日の憲法記念日に、南森町で憲法を守る署名宣伝行動を行い、大阪労連や自治労連から11人の参加がありました。

菅義人大阪労連事務局長は「憲法を変えようという動きがありますが、憲法を変えるのではなく、憲法が暮らしに活かされていない現実を正し、政治を変えていこう！」と呼びかけました。続いて、渡辺真千大阪自治労連書記次長は「素晴らしい憲法がありますが、それを私たちが目を光らせ、声をあげて守っていかないと暮らしに憲法を生かす事はできません。今こそ、私たちの憲法



さすがにGWということで人出は少なかったですが、カラフルなプラスターやのぼりを掲げ、「今日は憲法記念日です。憲法について考えて見みましょう」と声をかけながらビラをまいていると、ビラの受け取りもよく、お年寄りからは「戦争体験者が少なくなってきているけど、声を上げていくことが大切です」と期待の声が寄せられました。署名に応じてくれた青年が「僕らが戦争にいかねばならないので、絶対9条は変えてほしくないです」と話してくれました。

各組織でも職場門前や街頭宣伝などを行い、大阪から「改憲NO！」の風を巻き起こしていきましょう。

変えよう職場・地域と政治、勝ちとろう賃金・雇用・くらしの改善